

## 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

### <研究課題名>

細胞傷害性 T/NK 細胞を起源とする EBV 関連高悪性度リンパ腫の臨床病理学的解析

### <研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査医学科 (研究責任者) 高橋 宏通

### <研究期間>

承認日 ~ 西暦 2022 年 3 月 31 日

### <研究の目的と意義>

悪性リンパ腫は、血液腫瘍の中でも最も頻度の高い疾患のひとつです。Epstein-Barr ウイルス(EBV)は、一部のリンパ腫の発症に深く関わっており、多様な病像を形成します。EBV 関連リンパ腫その細胞起源によって、B 細胞型、T 細胞型、NK 細胞型に分けられ、そのうち T/NK 細胞型は小児に多く認められ、全身に浸潤し、予後不良な経過をたどる事が知られています。しかし、一方で成人発症例は頻度が低いこともあり、その臨床病理学的特徴はほとんど分かっていません。これらの特徴を解明するため、当院で治療を受けた方を対象とし、保存してある病理検体を用い病態解明を行います。

### <利用する試料・情報の項目>

当院で採取されたカルテ情報、臨床経過、病理検体を用いて解析を行います。追加での検体採取は行いません。

### <対象となる患者さん>

西暦 2002 年 1 月 1 日～西暦 2019 年 6 月 30 日の期間に当院血液膠原病内科で細胞傷害性 T/NK 細胞を起源とする EBV 関連高悪性度リンパ腫と診断された方です。

### <研究の方法>

臨床の経過と病理組織を再度検討します。病理検体を再度評価し直します。病理検体はタンパク質を評価する免疫染色と遺伝子を評価する方法を行います。

### <外部への試料・情報の提供等>

本研究は琉球大学大学院医学研究科細胞病理学講座を中心に行われるため、病理検体は匿名化した形で送付します。その後、評価した後、当院へ返還とします。臨床データは匿名化した形でデータファイルとして郵送します。研究終了後は同施設で適切な方法で処分されます。

<研究組織>

琉球大学大学院医学研究科細胞病理学講座

加留部 謙之輔、崎浜 秀悟

信州大学医学部附属病院臨床検査部・病理診断科

浅野 直子、上原 剛

大阪大学医学部附属病院病理部

本間 圭一郎

東海大学医学部附属病院 病理診断科

中村 直哉

中部徳洲会病院 血液内科

轟 純平

埼玉医科大学総合医療センター 病理部

百瀬 修二

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

臨床検査医学科

氏名:高橋 宏通

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2570 (PHS)8033

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)